

当院を受診された患者さんとそのご家族の方へ

臨床研究のうち患者さんの診療情報等の情報のみを用いる研究については患者さんから直接同意を得ない場合があります。このような臨床研究を実施する場合は研究の目的や利用する情報の詳細を公開して患者さんやご家族の方が研究利用を望まない場合にはいつでも拒否できる機会を保障することになっております。詳しくは別紙「外科領域 臨床データ利用のための包括的同意」に記載がありますのでご参照ください。

研究の対象となる患者さんもしくはご家族の方で、以下の研究へのご参加を希望されない方は以下の問い合わせ窓口もしくは担当医にご連絡ください。たとえ参加をお断りになられても不利益を受ける事は一切ありません。また、同意した後にいつでも同意を撤回することができます。ただし、既に研究結果を学会・論文において公表されている場合は、データを破棄できない場合がありますのでご了承ください。

研究名

上部消化管穿孔に対する保存的加療に影響を及ぼす因子としての骨格筋量評価の有用性

研究の背景

近年、栄養評価法として骨格筋量の精密な測定が可能となり、周術期の予後因子としてのサルコペニアが注目されています。これまで胃癌や大腸穿孔の症例における予後因子としての骨格筋量の評価が有用であったという報告がありますが、上部消化管穿孔症例の検討報告はありません。

意義・目的

上部消化管穿孔の保存的加療に難渋する症例について、骨格筋量を評価することで治療方針に役立てることを目的としています。

対象

2014 年 1 月 1 日から 2024 年 12 月 31 日までに千葉労災病院消化器外科に入院

され、上部消化管穿孔と診断され、治療した患者さんが対象となります。

研究方法

通常の診療の一環として行われる診療録に記載のある病歴、既往歴、身体・神経学的所見、受診後の経過や合併症の有無と種類、画像検査データ（MRI 検査、CT 検査、X 線検査、超音波検査）、血液検査、脳脊髄液検査、心電図検査が対象となります。

研究機関名

独立行政法人労働者健康安全機構 千葉労災病院消化器外科

手数料・謝礼

患者さんに手数料・謝礼が発生することはありません。

研究結果の公表

研究結果は医学系の学会発表や、医学雑誌へ論文として公表する場合があります。

個人情報に関する手続き

通常の診療で得られたデータ類を取扱う際は、個人情報の保護に十分配慮いたします。病院外に持ち出すデータには個人を特定できる情報を含みません。また、研究の結果を学会や論文で公表する際にも、対象になる患者さんを特定できる情報が含まれることは一切ありません。研究の目的以外にデータを使用することはありません。ご協力頂けない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

問い合わせ窓口

独立行政法人労働者健康安全機構 千葉労災病院消化器外科

消化器外科：今村南海子

電話 0436-74-1111

FAX 0436-74-1151

受付日時：平日 9 時から 17 時